

# 日掛地区地域づくり計画書

～ 誇れるふるさとをめざして ～



## 日掛地区地域づくり計画書

対馬市厳原町の日掛地区は、典型的な過疎地であり、非常に高齢化が進んでいる地域です。今後、何らかの具体的活動をしなければ、今の地域の事態は変わらないと考えています。そこで、日掛地区の地域づくり計画を作成し、目標をもって地域づくりを推進していく。

### 地区の概況

#### (1) 地区の現況

日掛地区は、対馬の峰・有明山の麓にあり、周囲を山々に囲まれ、佐須川の上流に位置しています。少ない農地には、米及びそばを作付けしている。そばに関しては、対州そばの原種と言われ、対州そば振興協議会により、対馬全島にそのそばの種を配布し、ブランド化を図っている。人口は減少傾向で、高齢化が非常に高い状況である。

#### (2) 人口の推移

	H10	H15	H20	H25	H26	H27
世帯数	17	14	15	17	18	17
人口	52	45	43	39	41	39
男	23	21	19	20	19	17
女	29	24	24	19	22	22

#### (3) 地区役員・集会

##### 地区役員

区長・会計・農事組合

・体育委員

##### 集会

毎月1回 20日



#### (4) 地区の行事

日掛銀山神社 大祭（4月）  
役馬（6月）  
村祈とう（8月）  
お出船（9月）  
おいりませ（11月）  
お堂開き（1月）  
佐須アソビピック（7月）  
敬老会（9月）  
清掃活動（6月・9月）

#### 地区の魅力・資源

春、道沿いのソメイヨシノ、公園の八重桜が満開になり、初夏、昼間は田植え、夜は川辺にホタルが飛び交い幻想的な風景が見られる。秋には米の収穫、そばの作付け、冬にはそばの収穫が行われる。

- 弘法大師



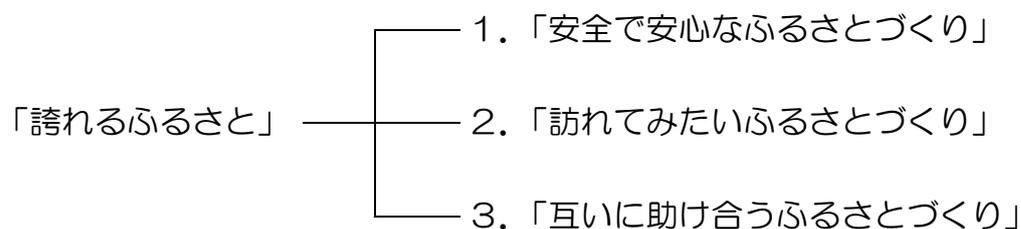
- 日掛銀山神社



## 地区将来の目標

現在、少子高齢化が進行しており、地域でのふれあいや支え合いが求められています。このため住んでいる人が満足するような地域、また外部から見て行ってみたいくなる地域、住んでみたいくなるような地域をつくることにより「誇れるふるさと」を実現することを将来の目標とします。そこで、以下の3点を重点取り組みとして行っていきます。

「誇れるふるさと」の実現に向けて



### 1. 「安全で安心なふるさとづくり」

#### 道路の整備

- ・ 現在、市道の改良整備中であるが、早期完成を推進していく。
- ・ 農道・林道の整備を推進していく。

#### 防災・防犯対策

- ・ 防災意識の向上や活動の活性化をはかり、地域消防団と連携していく。
- ・ 公民館の改修を推進していく。

#### 交通手段の確保

- ・ 乗り合いタクシー等を活用し、高齢者にも利用しやすい交通手段を今後とも確保していく。



## 2. 「訪れてみたいふるさとづくり」

### 景観の確保

- 自然に恵まれた地域であるため、景観の維持管理を積極的に推進していく。

6月上旬：ホタル

佐須川上流にある川一面の花崗岩の美しい景観を維持管理する。

- 耕作放棄地を利用した新たな作物等の栽培を地区一体となって行う。役割分担等を決め、視察・研修及び協議を積み重ねながら取り組みを進め、日掛地区住民と佐須地区の若者と協力しながら推進し、世代を超えたつながり・人と人とのふれあいを大切にしていく。



### 3. 「互いに助け合うふるさとづくり」

#### ボランティア活動の推進

- 地区内清掃・お祭り等を通じ、地域の中で互いに信頼し、助け合う意識の向上を図っていく。

#### 佐須アソビピックへの参加

- 日掛地区内だけでのスポーツ行事開催が難しいため、佐須体育協会主催の佐須アソビピックに積極的に参加し、佐須地区での交流を図っていく。

